

あす いま  
未来のために、現在を変える

# 鶴 翔

Kaku

Shou



つるほ 庸介

後援会会報 No.31

〒640-8323

和歌山市太田3丁目7-12 ヤマイチ第一ビル1F

TEL:073-472-3311 FAX:073-472-3334

E-mail:info@tsuruho.com



## 政治主導を進めるために

参議院議員 鶴保 庸介

この度、自民党観光立国調査会の事務局長に再任されました。大臣経験者は党内では調査会長になるのが順当らしく、林幹雄先生（現会長）に「わるいんだけど」とお詫び混じりをお願いされた時には正直苦笑いでした。このご時世、観光には自薦他薦の立候補者がたくさんおり、事務局長もなかなかの「狭き門」のようでしたが、「2度目の事務局長就

任を引き受けてくれ」ということだったのです。そもそも現在の観光立国調査会の幹部人事も、私が前回の事務局長時代、大臣に就任する都合でお願いして実現したもののなのです。が、とにかくにも2度目の事務局長です。さて、いよいよ仕事、しかもやるべき得意分野とあって、大いに張り切っているわけですが、は

### プロフィール

鶴保庸介（つるほようすけ）

参議院議員（和歌山県選出、自由民主党）

昭和42年（1967）2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒業。○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官（2期）、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣、平成26年参議院自民党政審会長、平成28年内閣府特命担当大臣、参議院資源エネルギーに関する調査会会長、自由民主党政務調査会観光立国調査会事務局局長

### おもな内容

- 大臣経験活かし、新ステージで存在感！
- 新事業創出の輪を！～福岡でフォーラム
- 世界遺産サミットへの期待～大田市で
- 前内閣府特命担当大臣と明日の日本を語る

たとえ立ち止まって考えると、今観光でせねばならないことは何か。インバウンド1000万人という最初の目標は達成し、2020年に4000万人という次の目標に向かってても順調に伸びている今、次なる飛躍のためには何をすべきか？明確な答えを持っている人は少ないと思います。

国土交通副大臣だったときには「ともかく1000万人を来年中に超えよう。そうすれば観光を産業としてどのようにしていくべきか、国民的議論が巻き上がるはずだ」と絶叫しながら、それを実現してきました。「良いも悪いもない、ともかく1000万人だ」と。

叫ぶたびに批判も浴びてきましたが、わかりやすい目標のために、なにより構わずやってこられたからこそ（2ページへつづく）

(1ページからつづく)

そ、やりがいも達成感もあったと言えます。

しかし、今はどうか。ITの発展に伴い、情報は瞬時に世界を駆け巡り、日本だけが果実を独占できるとは思えません。客が何を求め、何に価値をおいているかを見極める力と、それを先取りする実行力が必要となってきたいます。

例えば渋谷のスクランブル交差点のように日本人が思いも寄らない「観光地」が世界で人気なのはなぜか。そこからほかの観光戦略に普遍性を持たせる努力をしているか？ 答えはノーです。

副大臣時代から第1回目の調査会事務局長時代にかけて、Uber(自動車配車ウェブサイトおよび配車アプリ)やAirbnb(民泊仲介大手オンラインサイト)のようなシェアリングエコノミーが台頭し、世界中でその影響が始めていた頃、私はこれを過疎地域にこそ有利な仕組みであるとして、地域限定で規制緩和すべきと説いてきました。

結果はみなさんのご存知の通りです。Uberについては負の側面ばかりが強調され、限界集落地域での輸送・運搬にいつこうに光は見えてきませんし、民泊についても、違法なものにどんどん浸食されるばかり

でした。

これからのインバウンド政策は数ではない、質であり消費額である、とも言われました。

では高単価の客とはどの国のどの世代の人で、その人たちが魅力を感じる観光プロモーションとはどんなものなのか明確にできているでしょうか。産業としての観光は国内旅行こそ、その総額が大きいのであり、インバウンドばかりに目を向ける観光政策は間違っているとも言われていますが、その後、国内旅行政策において重要なポイントとなる休日の取り方を分散できているか。私は知りません。

地域が独自に情報発信をしないから客が魅力を感じないという指摘もよくなされます。

しかし、自治体間に圧倒的な財政的、人材的格差がある中で、一律にネットを使って世界に向けて発信せよといわれても、例えばフランス語のできる過疎地域職員がどれだけのるでしょうか。

## 何を優先させるか

以上、少々皮肉も込めて現状を憂いました。これらはすべて誰かの責任というわけではありません。これこそが政治が主導してやっていく

ことなのです。

問題意識を持つ人の意見や論点はたくさんあるでしょう。その中で何をとり上げ、何を優先して実行していくかが政治なのです。

その意味で、私がいつも褒められもし、コテンパンに批判もされるのは、この決断を早い段階で行っているからです。

しかし誤解して欲しくないのは、その決断の裏には、たくさん意見があつたり、書籍があつたり、ときにはアンケートがあつたりするといふことです。

今回、私に多くの声を寄せて欲しいとお願ひするのはこの為です。

そもそも、わが国の政治を称して「バランスのとれた良い政治」と思っている人は、たくさんいます。

何かを改革しようとする、出来ない理屈を述べるのはこのためでしょう。現在の社会的ルールはその都度、何か理由があつて設けられたものであることは百も承知です。しかし、なぜ？ と首を傾げなくなるようなものも多いのではないのでしょうか。

曰く「世界がこうしているから」曰く「人口が減って採算が取れないから」。

いずれも多くの人が無意識に当

## 鶴保議員の活動日誌

|    |     |                                        |
|----|-----|----------------------------------------|
| 九月 | 1日  | 会館にて面談・レク                              |
|    | 2日  | 東京挨拶回り                                 |
|    | 3日  | 地元にて面談・レク                              |
|    | 4日  | 地元挨拶回り                                 |
|    | 5日  | 東京挨拶回り                                 |
|    | 6日  | 棚田振興議連・会館にて面談・レク                       |
|    | 7日  | 地元挨拶回り                                 |
|    | 8日  | 地元挨拶回り                                 |
|    | 9日  | 地元挨拶回り                                 |
|    | 10日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 11日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 12日 | 東京挨拶回り                                 |
|    | 13日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 14日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 15日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 16日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 17日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 18日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 19日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 20日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 21日 | 東京挨拶回り                                 |
|    | 22日 | ソリスムEXPOジャパン2017展示会・内覧会・会館にて面談・レク      |
|    | 23日 | 県連代表役員会・第6回加太宇宙イベント、地元にて面談・レク          |
|    | 24日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 25日 | 地元挨拶回り                                 |
|    | 26日 | 東京挨拶回り                                 |
|    | 27日 | 志帥会選挙対策会議、水産部会・水産総合調査会合同会議、            |
|    | 28日 | 【臨時国会召集】本会議、厚生委員会、資源エネルギーに関する調査会(会長就任) |
|    | 29日 | 会館にて面談・レク                              |
|    | 30日 | 地元挨拶回り                                 |
| 十月 | 1日  | 第49回和歌山日曜野球秋季大会 海南市新庁舎落成式              |
|    | 2日  | 地元挨拶回り                                 |
|    | 3日  | 地元挨拶回り                                 |
|    | 4日  | 地元挨拶回り                                 |
|    | 5日  | 地元挨拶回り                                 |





2013年に「年間の訪日外国人旅行者1000万人」達成。観光庁主催の祝賀会（2014年1月27日）では、実現に尽力した鶴保議員も挨拶



次の目標2000万人に向けた新年交流会が2015年1月に開かれ、前国交副大臣として鏡開き。2000万人は予想を超える速さで2016年に突破

たり前のものとして受け入れてしまっています。しかしこれからの時代、われわれが考えなければならぬのは、「こうしたい」という希望を実現しようとする強い思いです。そこには多くの国民の政治への参加と問題意識が必要となります。誰もいない道路でふと見ると物陰に隠れてスピード違反の取締り。ずるいなあ、と言いつつはつとした経験はないでしょうか。

海に流れ着くおびたしい漂着ごみ。よく見ると中国語の空き缶や何やら。またか、とため息をつきながらボランティア活動に勤しんだ経験はないでしょうか。

大雨で河川が氾濫。よしとばかりに堤防を積み上げる。気づいたら自分の家の屋根より高い堤防を見上げながら暮らしている。

最近は大雨どころかちよつとした雨でも川への水門が開けられず、すぐ水浸し、とあきらめてはいないでしょうか。

急な体調不良で倒れた。家族がマイカーに乗せて急いで救急病院に送ってくれたが、救急外来で長時間待たされた、などという話を耳にしたことはないでしょうか。

あちこちの病院にかかったお年寄りに複数の薬が処方され、総量を本人以外誰も知らず、結局認知症が進んでしまったなんて話も聞いたことがありますよね。

……もうやめましょう。まだまだあるけれど、とても書ききれません。

## 出来ない理屈は不要

過疎化も高齢化も少子化も、今に

始まったことではありません。そうなる傾向があるなら対策を講じるべきで、そのために出来ない理屈をこねている場合ではありません。

役所の方と話していても腹立たしいのは「現行法上では出来ません」と堂々と言い張る神経です。

農地に道路を引っ張ろうとしてもそう、過疎地域にドローンで輸送を行おうとしても、山の中の一軒家で建築基準や防火基準を変えようとしても、先のセリフが出て来る。

そんなことは分かっていると、そんなことで手をこまねいている間に限界集落は消滅するし、誰もいなくなつてから道路を引いたり規制緩和をしたりすることになるぞ、と心の中で叫びながら（いや、ほんとに怒鳴ってしまったことも一度や二度ではありません）、「現行法上」の手続きに則つて「少しずつ」変えているのが現状です。

この現状を変えるにはどうすれば良いのか？ 私が総理になることではありません。総理になった誰彼を動かす力、国民のコンセンサスが必要だと思います。

特に、広範な地域でまとまった意見が出てくんなら、地方の、決まった地域で意見集約をするようにすべきではないでしょうか。

6日 第41回建築士事務所全国大会和歌山大会  
7日 地元挨拶回り  
8日 地元挨拶回り  
9日 地元挨拶回り  
10日 地元各所衆院選出陣式



11日 沖縄県選挙応援  
12日 沖縄県選挙応援  
13日 東京挨拶回り  
14日 地元選挙応援  
15日 地元選挙応援  
16日 東京選挙応援



17日 高知選挙応援  
18日 神奈川選挙応援  
19日 埼玉選挙応援  
20日 地元選挙応援、県産廃協会法人化30周年記念式典  
21日 地元選挙応援  
22日 地元挨拶回り  
23日 東京挨拶回り  
24日 東京挨拶回り  
25日 会館にて面談・レク

# 鶴保庸介 参議院・資源エネルギー に関する調査会会長

## 大臣経験を活かし 新ステージで存在感示す



### 大局的な調査、政策推進を！

鶴保議員が会長に就任した参議院資源エネルギーに関する調査会の今国会における会合が2月7日から始まりました。

同調査会は、解散がなく議員の任期を全うできる参議院の特性を活かし、腰を落ち着けて国政の基本的事項について長期的かつ総合的に調査をするために設置された参院独自の組織です。調査に当たり、参考人からの意見聴取、政府からの説明聴取、内閣・官公署等への資料要求、委員派遣等を行い、調査の結果、立法措置が必要な場合は自ら法律案を提出するほか、所管委員会に法律案の提出を勧告することができます。調査会長は毎年、調査の経過及び結果を記載した報告書を議長に提出します。

2月7日の調査会では「新たな時代に向けた我が国の資源エネルギー像」のうち、我が国の資源エネルギー戦略（資源エネルギーの安全保障）について、3参考人から意見を聴きました。（一財）日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究理事の保坂修司、東京大学公共政策大

26日 会館にて面談・レク  
27日 金井宇宙飛行士表敬、会館にて面談・レク



28日 地元挨拶回り  
29日 地元挨拶回り  
30日 全国宅地建物取引業協会連合会近畿地区連絡会合同研修会（講師）  
31日 会館にて面談・レク

十一月

1日 【特別国会召集】本会議、会館にて面談・レク、科学技術・イノベーション戦略調査会

2日 医師養成の過程から医師偏在・潜在是正を求める議連設立総会、東京パーティー

3日 地元挨拶回り

4日 地元挨拶回り

5日 地元挨拶回り

6日 地元挨拶回り

7日 自動運転試乗、会館にて面談・レク



8日 国会開会式、会館にて面談・レク

9日 半島振興対策促進大会、小型航空機振興議連設立総会、会館にて面談・レク

10日 第4回世界遺産サミット（島根県）、島根県視察（邸舎・他郷阿部家）



学院特任教授芳川恒志、東京大学名誉教授・内閣府SIP「次世代海洋資源調査技術」プログラムディレクター浦辺徹郎の3氏で、それぞれの意見を聴き、エネルギーの安全保障を確かなものとするための中東政策や海底資源開発などの質疑が行われました。

## 再生可能エネルギーや 原子力問題も

2月14日の第2回会合は「我が国の資源エネルギー戦略」の「再生可能エネルギー」について参考人から聴取と質疑応答を行いました。参考人は、(公財)地球環境産業技術研究機構理事・研究所長山地憲治、(二財)電力中央研究所エネルギーイノベーション創発センター研究参事浅野浩志、みやまスマートエネルギー



これからのエネルギー政策を如何に進めるべきか——示唆に富む有意義な視察を(上から住友電気、千代田化工建設、JXTGエネルギー)

ギー(株)代表取締役磯部達、京都大学大学院経済学研究科・地球環境学堂教授諸富徹の各氏。

同21日の第3回は、「原子力問題に関する件」のうち原子力規制委員会の活動状況について、更田原子力規制委員会委員長から説明を聴きました。また、原子力問題に関して武藤経済産業副大臣や東京電力ホールディングス小早川智明代表執行役社長らに対し質疑を行いました。

## エネルギー開発の 最先端現場を視察

2月22日には「資源エネルギーに関する調査会」のメンバーで民間のエネルギー開発の横浜の3カ所の最先端現場を視察しました。

一つは、住友電気工業(株)横浜製作所。再生可能エネルギーの積極



的な活用に向けてレドックスフロー電池(バナジウムなどのイオンの酸化還元反応を利用して充放電を行う蓄電池。長寿命で常温運転が可能で安全性が高い。電力系統用蓄電池に適している)と集光型太陽光発電装置(CPV)の開発、実証運転の現場を視察しました。

千代田化工建設(株)では、次世代エネルギーの水素を常温・常圧の液体として扱う技術を確認、大規模デモプラントを建設し、研究を続けています。

JXTGエネルギー(株)横浜綱島水素ステーションでは未来の水素社会を紹介するショールーム(スイソテラス)やFCV(燃料電池自動車)向けの水素充填の模擬体験など水素社会構築に向けた情報発信施設を視察しました。



|     |                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------|
| 11日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 12日 | 和歌山日置川ふるさと会懇親会 県連拡<br>大役員会、中村しんじ出席式                                     |
| 13日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 14日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 15日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 16日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 17日 | 本会議、会館にて面談・レク                                                           |
| 18日 | 紀の川市議会挨拶回り、海南市懇親会                                                       |
| 19日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 20日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 21日 | 本会議、国対正副委員長と各委員会委員<br>長・理事との打合せ、会館にて面談・レク                               |
| 22日 | 本会議、会館にて面談・レク                                                           |
| 23日 | 地元にて面談                                                                  |
| 24日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 25日 | 地元挨拶回り                                                                  |
| 26日 | 地元挨拶回り・お悔やみ、県医師会創立<br>70周年記念式典                                          |
| 27日 | 環境・ライフラインカンパニー技術<br>フォーラム                                               |
| 28日 | 全国治水砂防協会和歌山県支部昼食会、<br>JICA日越大学第1期インターンシッ<br>プ生来日記念交流レセプション<br>会館にて面談・レク |
| 29日 | 厚労委員会、ナイトタイムエコノミー議<br>連、会館にて面談・レク                                       |
| 30日 |                                                                         |
| 十二月 |                                                                         |
| 1日  | 東京挨拶回り                                                                  |
| 2日  | 地元挨拶回り                                                                  |
| 3日  | 地元挨拶回り・お悔やみ                                                             |
| 4日  | 本会議、資源エネルギーに関する調査会<br>理事懇、会館にて面談・レク                                     |
| 5日  | 厚労委員会、日本・マダガスカル議連、会<br>館にて面談・レク                                         |
| 6日  | 会館にて面談・レク、ジビエ会合                                                         |
| 7日  | 日本・ラトビア友好議連「マリス・ク<br>チンスキス首相との朝食会」、厚労委員<br>会、全日本トラック事業政治連盟冬季懇<br>親パーティー |
| 8日  | 流通懇話会、厚労委員会、資源エネルギー<br>に関する調査会、本会議、会館にて面談・<br>レク                        |
| 9日  | 県歯科医療懇談会                                                                |
| 10日 | 湯浅剣心会創立40周年記念大会、地元挨<br>拶回り                                              |

## 国会報告

## 政策研究 &amp; 推進

# 新事業創出の輪を広げよう！ 福岡でサイエンス & イノベーションフォーラム

鶴保議員が昨年7月、内閣府特命担当大臣（科学技術政策担当）としてイニシアチブをとって立ち上げた「サイエンス&イノベーション・インテグレーション（S&I-I）協議会」。研究開発型スタートアップやイノベーションに携わるさまざまな人材が産学官等のセクターを超えて交流する自律的なコミュニティづくりを進めるための協議会です。

同協議会を運営する内閣府は昨年12月15日、福岡市、理化学研究所、九州大学等と共同で「サイエンス&イノベーションフォーラム in Fukuoka」を開催。鶴保議員も同協会を立ち上げた大臣として出席しました。

同フォーラムでは理化学研究所の辨野義己氏やCYBERDYNE株式会社社の山海嘉之社長の特別講演のほか、中小・中堅企業の研究開発型スタートアップやその支援をテーマにしたパネルディスカッションなども行われました。

また、同フォーラムにおいて、福岡市が九州の企業と大学などの研究



産学官の垣根を越えてディスカッション（福岡市、電気ビル共創館4階「電気ビルみらいホール」）

機関の事業マッチングを後押しし、九州・沖縄・山口の地場企業の研究開発力を高め、新事業を創出するために「ふくおか産学共創コンソーシアム」を立ち上げたことが報告されました。

地場企業を九州大学や理化学研究所などの研究機関や地銀などの金融機関につなげて、新事業創出の輪を創業特区に指定された福岡市から九州全域へ広げていくことが期待されています。

鶴保議員が大臣時代にまいた種がここでも確実に芽を吹き始めているといえます。

## 沖縄でバスの自動運転を視察

「自動運転」も鶴保議員が早くか

ら推進している政策です。大臣時代に旗を振って南城市とそれに続く石垣市におけるバスの自動運転実証実験が行われ、それを視察しました（昨年6月）。

交通環境の改善が急務の沖縄において将来のコミュニティバスの活用も見据えて行われている公道実験です。

大臣退任後には沖縄振興局と宇宙開発戦略推進事務局が昨年10月31日から宜野湾市及び北中城村で進めている戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「自動走行システム」によるバス自動運転実証実験を視察（12月12日）。その進捗状況や成果を聴取しました。

アメリカにおいては今年3月、人



|     |                                            |
|-----|--------------------------------------------|
| 11日 | リムジックホイ次期ASEAN事務総長との昼食会                    |
| 12日 | 沖縄県視察（バス自動運転試験乗、おきなわワールド他）                 |
| 13日 | 沖縄県経済団体会議との面談、日本の観光を考える懇談会                 |
| 14日 | 会館にて面談・レク                                  |
| 15日 | 内閣府サイエンス&イノベーション（S&I-I）フォーラム in Fukuoka    |
| 16日 | 地元挨拶回り                                     |
| 17日 | 地元挨拶回り                                     |
| 18日 | 富士教育訓練センター視察                               |
| 19日 | 会館にて面談・レク                                  |
| 20日 | JETRO和歌山貿易情報センター開所記念レセプション                 |
| 21日 | 会館にて面談・レク                                  |
| 22日 | 会館にて面談・レク                                  |
| 23日 | 地元挨拶回り                                     |
| 24日 | 地元挨拶回り                                     |
| 25日 | 地元挨拶回り                                     |
| 26日 | 地元挨拶回り                                     |
| 27日 | 地元挨拶回り                                     |
| 28日 | 地元挨拶回り                                     |
| 29日 | 地元挨拶回り                                     |
| 30日 | 地元挨拶回り                                     |
| 31日 | 地元挨拶回り                                     |
| 一月  |                                            |
| 1日  | 地元挨拶回り                                     |
| 2日  | 地元挨拶回り                                     |
| 3日  | 地元挨拶回り                                     |
| 4日  | 地元挨拶回り・お悔やみ、海南商工会議所・下津町商工会新年賀会、有田市新年互礼会    |
| 5日  | 橋本商工会議所新年賀詞交歓会                             |
| 6日  | 自民党県連年賀会、和歌山放送国会議員座談会                      |
| 7日  | 紀の川市消防団出初式、紀の川市成人式、青洲の里七草粥まつり、紀の川市商工会新春交歓会 |
| 8日  | 地元挨拶回り                                     |
| 9日  | 全国住宅産業協会新年賀会                               |
| 10日 | 地元挨拶回り                                     |
| 11日 | 全国宅地建物取引業協会連合会新年賀詞交歓会、日本キャッシュレス化協会新年会      |
| 12日 | 日本民営鉄道協会新年賀詞交換会、日本音楽事業者協会新年の集い             |





沖縄では昨年から今年の初めにかけて米軍のヘリコプター事故が相次ぎました。なかでも12月13日には、普天間飛行場（宜野湾市）所属の大型輸送ヘリ（CH53）から小学校校庭に部品（窓）が落下するという事故が起きたため、同日、自民党として萩生田光一幹事長代行、林幹雄幹事長代理、地元沖縄の國場幸之助衆議院議員とともに、前沖縄北方担当

### 相次ぐ米軍ヘリの事故！ 厳正対処を官房長官に申し入れ

身事故も起こしている自動運転の実証実験ですが、日本においてはより安全性に留意して、沖縄の深刻な道路渋滞の解消を図るための「沖縄次世代都市交通システム（Okinawa-ART）」に活かすためにも確実な実験の成果が期待されています。

大臣として総理官邸に菅義偉官房長官を訪ね、「事故は言語道断」「米軍に対し断固抗議する」「政府が米側に厳正に対処するよう求める」との申し入れを行いました。

繰り返される事故に対する沖縄県民の強い憤りに後押しされ、米軍に原因究明と再発防止を強く求めることと、普天間飛行場の危険性が改めて浮き彫りになったことから、名護市辺野古への移設計画を急ぐべきとの申し入れを行ったのです。

### 医師養成・偏在是正議連発足

医師養成の過程から医師偏在是正を求める自民党の議員連盟（会長・河村建夫衆議院議員）が11月2日に発足、鶴保護議員も出席して設立総会が開かれました。会では、臨床研修制度における外科、小児科、産婦人科、精神科の4科の必修化などを求める「偏在是正を求める決議」を大筋合意して河村会長に最終的な取りまとめを一任しました（河村会長は11月14日、同決議を加藤勝信厚労相に提出。また、12月には林芳正文科相への申し入れも）。

これまで地方で大きな問題になっている「医師偏在」に対してさまざまな対策が講じられてきたものの抜本的な解決が図られてこなかったこ



とから、初期研修のマッチング、大学の医局・医師会・地域医療との関連性を踏まえた新たな仕組みの構築を目指しています。

### 全国住宅産業協会の セミナーで講演

昨年11月22日、一般社団法人全国住宅産業協会において講演。同協会は、全国各地でマンションおよび戸建住宅の供給や住宅をはじめとする不動産流通事業を行っている会員約1500社を擁する団体。鶴保護議員は、中古住宅利用・市場の活性化の取り組みなどの持論を展開。



### 日本建設機械レンタル協会 司交歓会



13日 地元挨拶回り  
14日 地元挨拶回り  
15日 公明党新春年賀会  
16日 会館にて面談・レク  
17日 ネパール大使との昼食会、日本建設機械レンタル協会新年賀詞交歓会、日本U A



18日 S産業振興協議会新春パーティ  
会館にて面談・レク、京奈和・第二阪和連絡道路建設促進和歌山市議会議員連意見交

19日 換会、自民党県議団東京研修懇親会  
20日 地元挨拶回り  
21日 みなべ梅干組合昼食懇談会、県理容生活衛生同業組合新年懇親会、県美容業生活衛生同業組合新年懇親会  
22日 【通常国会召集】本会議  
23日 会館にて面談・レク  
24日 会館にて面談・レク  
25日 本会議、会館にて面談・レク  
26日 本会議、資源エネルギーに関する調査会  
27日 東京挨拶回り  
28日 県看護連盟年賀会

## 捕鯨文化を大切に！ フェロー諸島大臣と会談

1月31日、自民党捕鯨議連のメンバーとして、訪日中のデンマーク王国自治領フェロー諸島の外交通商大臣ポール・ミケルセン氏と捕鯨、北極についての意見交換を行いました。

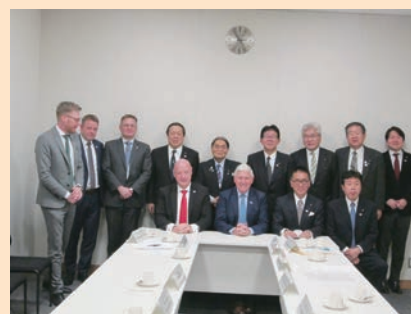


フェロー諸島はノルウェーとアイスランドの中間に浮かぶノルウェー海と北大西洋に挟まれた18の島からなる群島で、小型のクジラやイルカの漁を行っています。同じ漁を行っている和歌山県の太地町は昨年、同諸島のクラクスヴィーク町と協力して捕鯨の文化を守ろうと姉妹都市の提携を結んだばかりです。

フェロー諸島は、これまでも鯨類の持続可能な利用に向けてわが国とは協力関係にあり、議連は今後も緊密に連携していきたいと姉妹都市提携を歓迎。ミケルセン大臣からは、今般の訪日を機にフェロー諸島と日本との関係を一層強化したいと発言。フェロー諸島と日本の経済関係を今後にもさらに強化していくことで両者は一致しました。

## 和歌山とも縁の深い ネパール大使と昼食会

1月17日、ネパール連邦民主共和国のプラティヴァ・ラナ大使との昼食会に出席。鶴保議員は、日本・ネパール友好議員連盟のメンバーとして両国友好のために活動しています。2015年9月には地元和歌山県高野町がネパールのルンビニとの間で「世界遺産都市の文化・観光・交流相互協定」を結んでいます。その翌年の2016年が日・ネパール外交関係樹立60周年の記念の年で、幅広い分野で周年記念行事も行われ、訪日ネパール人も急激に増加しています。昼食会では、さらに友好を深めるための様々な課題について話し合われました。



29日 会館にて面談・レク  
30日 会館にて面談・レク  
31日 大日本猟友会「第2回自然と農山村を守る狩猟の集い」、捕鯨議連「デンマーク王国自治領フェロー諸島外交通商大臣との

## 石見銀山の

## 島根・大田市で

## 世界遺産サミット

世界遺産のある自治体がその魅力の発信や活用について話し合う「世界遺産サミット(第4回)」が11月10日、石見銀山のある島根県大田市で開かれ、2020年東京五輪・パラリンピックに向けて国内外にその魅力を発信するために世界遺産間の連携に取り組むとの「石見銀山宣言」を採択。このサミットの「生みの親」として、また、自民党観光立国調査会顧問として会に参加した鶴保議員が『わかやま新報』の「国会議員国政レポート」に参加レポートを寄稿しています(11月14日付)。以下に転載、紹介します。

## 競争と協力で観光振興 世界遺産サミットへの期待

年に1回の恒例イベント、『世界遺産サミット』に出席するため、島根県大田市を訪れてまいりました。

## 鶴保庸介

世界遺産サミットとは、世界遺産を持つ自治体の首長が一堂に会し、その保全や活用、抱える課題について

意見交換を行い、また自治体間の連携を深めようという趣旨のもと、私が国土交通副大臣時代に立ち上げたもので、今回で4回目となります。ご記憶の方もいらつしやるかもしれませんが、一昨年にはわれらが和

二月  
1日 クルーズ船観光振興議連総会、会館にて面談・レク、全漁連「漁業の成長産業化に向けた誓いと感謝のタペ」  
2日 廃棄物管理業協会親睦交流会  
3日 県連代表役員会、田原学園文化祭  
4日 地元挨拶回り  
5日 会館にて面談・レク  
6日 会館にて面談・レク  
7日 資源エネルギーに関する調査会、会館にて面談・レク、山下直也県議講演会(講師)  
8日 会館にて面談・レク  
9日 地元挨拶回り  
10日 紀北地区郵便局長会通常総会  
11日 地元挨拶回り  
12日 第10回県武術太極拳連盟選手権大会  
13日 会館にて面談・レク、フェローフォーラム  
14日 本会議、資源エネルギー調査会、会館にて面談・レク  
15日 与党関西空港推進議連、水産拡大役員会  
16日 地元挨拶回り  
17日 地元挨拶回り  
18日 地元挨拶回り  
19日 会館にて面談・レク  
20日 N T T 研究発表視察  
21日 資源エネルギーに関する調査会、会館にて





次回（今年）のサミットは兵庫県姫路市で開催される

歌山県で第2回の世界遺産サミットを開催させていただきました。いわゆる「言い出しっぺ」の私は、第1回の京都、第2回の和歌山、第3回の岩手、そして第4回の島根と、日程をやりくりしてこれまでのところすべてに参加しております。

今年の会場となった島根県大田市。石見銀山が世界遺産に登録されて今年で10年になりますが、これまで開催された3回とは少し事情が異なります。登録決定の翌年に80万人を超えた観光客はその後減少傾向が続き、2016年には30万人強と、3割程度まで落ち込んでいます。出雲空港から1時間以上かかり、また新幹線も通っておらず、鉄道の利便性も決して良いといえないなど、アクセス面での不利はやはり

どうしても響いてきます。

ただ、この10年間、島根県や大田市始め関係者一同がただただ手をこまねいていたわけではありません。最近では熱意のある地元の方々の協力も得て、「ウォーキング」と「観光」を組み合わせた「ヘルスツーリズム」に取り組むなど、さまざまな創意工夫はされてこられました。残念ながら観光客数の減少傾向に歯止めをかけられていないのが現状です。

今回の世界遺産サミットでは初めて分科会が設置され、各自治体の担当者の間で、よりつつこんだ議論が交わされたと聞いております。私が世界遺産サミット立ち上げの必要性を痛感したのはまさにこの点にあるといえます。インバウンドの取り込みなど、現在、各都道府県はお互い熾烈な争いを繰り広げています。各都道府県は独自の予算を組み、それぞれの首長や関係者が海外に出て地元のプロモーションを行う。確かに、観光客誘致のために、一生懸命取り組むところとそうでないところに差が出ることを否定するものではありません。ただ、私はもう少し広い視野で物事を見ることも必要だと考えています。競うべきところは競うが、協力できる部分は協力し、情報を共有し、連携していくことが

できれば、今より少ない予算で、今より大きな効果をもたらすことも決して不可能ではない、と考えています。

ただ、それはわれわれ国会議員や、観光庁が上から指示して成せるものではありません。各自治体の担当者間の人間関係、協力関係こそが物をいってやる。世界遺産サミットも今回で4回目となり、少しずつブラッシュアップされてきました。ただ単なる取り組み発表の場にするのではなく、今後、各自治体間での情報が共有され、より良い関係が築かれ、より効果的な観光振興の手立てが打てるようなきっかけの場に発展させたい、と考えています。

例えば、当該観光地の不都合なところをボロカスに言い合うような会議をしてみるとか、観光学部など近隣のアカデミアの学生や先生に参加してもらい実践事業を行なってもらうとかです。

そのためには県・市町村の職員の皆さまはもちろん、地元の方々の協力が不可欠です。抜き出ている観光地だからこそ世界遺産として登録されるのであり政府も力を入れることができるのであります。選択と集中そしてその連携。観光の目指すべき姿が見えている以上、そのことに努力をしない手はありません。



22日 資源エネルギーに関する調査会視察（横浜・懇親会）  
23日 会館にて面談・レク  
24日 地元挨拶回り  
25日 地元挨拶回り  
26日 地元挨拶回り  
27日 会館にて面談・レク  
28日 棚田振興議連、会館にて面談・レク



## 観光の力で地方を元気に

公益社団法人日本観光振興協会 理事長 久保 成人

鶴保先生には観光産業、観光行政に深い理解と暖かい心をもってご支援・指導を賜ってきましたことを感謝申し上げます。また、観光を含む地方創生に積極的にご発言、ご活躍を続けてこられたことに敬意を表します。観光が今ほど注目されていない時代から、鶴保先生は、その重要性、役割を認識され応援しておられます。



## 基礎的自治体として

インバウンドという言葉すら流布していない二〇〇三年、小泉内閣時にインバウンド一〇〇〇万人を目標に「ビジット・ジャパン・キャンペーン」がスタート。鶴保先生は当時観光担当の国土交通大臣政務官。インバウンドはまだ五〇〇万人台でした。この時以来、先生は観光振興の旗を振り、かけ声をかけ、行動の先頭に立ち続けて来られました。二〇一二年十二月、国土交通副大臣に就任すると鶴保先生のエンジンが本格稼働し、ASEAN諸国のビザ発給要件の緩和が重要な難しい課題でしたが、二〇一三年七月にはご努力が結実し、タイ国、マレーシア国からの旅行者のビザが免除になる等、緩和策が実現。以後ASEAN

諸国から訪日客の増加は目を見張るものがあるのはご承知のとおりです。二〇一三年十月には自民党観光立国調査会事務局長に就かれまし。その時の大きな課題は訪日客の消費税免税制度の対象を全品目に拡大することでした。同年十二月の与党税制改正大綱に取り入れられ、二〇一四年十月にスタート。これも以後の訪日客による日本製品購入への大きな動きに発展していったことも記憶に新しいと思います。この間、二〇一三年十二月には、観光関係者の悲願であったインバウンド一〇〇〇万人が実現しました。当時、観光庁長官として鶴保先生の叱咤激励を連日受け続けていた小生も、先

会で喜びを共にしました。懐かしい思い出です。先生の茶目っ気あるエピソードを一つ。訪日客一〇〇〇万人突破を記念して「一〇〇〇万じゅー」(記念紅白饅頭)を企画制作され、国会内の売店等で人気を博したことも楽しく思い出されます。鶴保先生がこのように熱心に観光政策に取り組んでこられたのは、観光振興が大都市だけでなく地方創生に強くながっていくとの確信を持たれたることと考えます。「地方が元気になる」の信念のもと、観光を「ライフワークの一つ」として全力で取り組まれていることに改めて敬意を表し、引き続き、ご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

鶴保先生には国政の場から和歌山県町村に対し格別のご尽力、ご支援を賜り心より御礼を申し上げます。また、本年7月には議員歴20周年という記念すべき節目の年となりますことを併せてお祝い申し上げます。私たち和歌山県町村21町村は紀伊半島に位置し、太平洋国土軸から外れ、私が町長になった頃は紀伊半島



一周高速道路は夢の夢でしたが、鶴保先生はじめ県選出国会議員のご努力のお陰で「和歌山国体までに」の合言葉により工事が進み、現実のものへと実感できるようになりました。和歌山県には高野・熊野の世界遺産、鯨とともに生きる、醤油の湯浅絶景の宝庫和歌浦の3つの日本遺産、梅システムの世界農業遺産、南紀熊野ジオパークや濱口梧陵、南方熊楠などの偉人記念館等々、魅力ある観光資源が数えきれないほどあり、紀伊半島が世界的旅行ガイドブック『ロンリープラネット』で5位となるなど注目を集めています。隣接する関西国際空港は、開港以来、利用者低迷による厳しい時期が続きましたが、LCC航空会社の参

入等により活況を呈し、閑空から整備の進んだ京奈和、第二阪和、近畿自動車道紀勢線を利用して和歌山観光に訪れ宿泊した外国人客が平成28年50万人余と過去最高を記録しました。これも鶴保先生はじめ国会議員のご尽力により、閑空のコンセッション、ビザの発給要件緩和、ミゼン整備等への注力と道路整備の進捗の賜物と感謝申し上げます。一方、私たち21町村は少子高齢・人口減少が止まらない状況で、東京一極集中解消、人口減少対策のため、今までの金太郎飴的事業ではなく、個々町村オンリーワンを心掛けて、町村連携できるものは連携して効率化に努め、地方創生、国土強靱化対策事業に取り組んでいます。しかし、

町村財政の税収は限られ、地方交付税等の依存が大きく、毎年の政府要望では地方財政計画における一般財源確保、地方交付税の維持、増額をお願いしているところです。21町村は今後も国、県を支える基礎的自治体としての誇りと責任をもって地域住民が安全、安心してずっと住み続けられる地域振興施策を創意工夫し実施してまいりたい決意です。鶴保先生には、議員歴20年のすばらしい経験を活かし、座右の銘「遠図」の精神で国の将来と和歌山県21町村(地方)の将来を遠く見通して次の時代を予見した各種施策を実行して頂くことを祈念するとともに、引き続きご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

和歌山県町村会会長(紀美野町長) 寺本 光嘉





鶴保議員がやはり力を入れているクルーズ船観光。その振興を図る「クルーズ船観光振興議員連盟の第10回総会」が2月1日、党本部で開かれました。

クルーズ船による訪日外国人は年々増加し、各地の港が賑わいを見せています。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてさらに増加が予想されるな

## クルーズ船の観光振興を！

### 議員連盟第10回総会

か、クルーズ船による外国人を地元がしっかり受け止め、その需要を取り込んで観光・経済振興に結び付けていくためには、入国管理や税関、検疫などまだ多くの課題があります。創意工夫をしながら取り組んでいくさまざまな課題が検討され、議員連盟もしっかり対応して、関係省庁に提案を続けていくことを確認しました。

## 有害鳥獣もジビエとして味わい

### 自然と農山村を守る

1月31日、自民党本部で開催された「第2回自然と農山村を守る狩猟のつどい」ジビエを食べて中山間地を守ろう」に参加。このつどいは、生態系や農林水産業に深刻な被害を与えている野生鳥獣（シカやイノシシ等の害獣）の適切な管理・捕獲を行っている大日本猟友会が主催。捕獲した鳥獣を単に有害鳥獣としないで「自然からの恵みであるジビエ」として味わうことを

普及させて自然と農山村の保全に貢献しようとのプロジェクト。自民党鳥獣捕獲緊急対策議連（会長・二階幹事長）が後援。オープニングでは、大日本猟友会の佐々木会長、二階自民党幹事長、菅内閣官房長官、井上公明党幹事長が挨拶。そして岩手県の「花泉出前餅つき隊」が、威勢よく餅つきを行って会を盛り上げました。試食用のジビエ料理は、エゾシカを使ったテリ

ーヌ、コンソメ、ロースト、ワイン煮込み、カレーなどが提供され、どれも「美味しい」「食べやすい」と好評でした。



Seilan  
JABARA

悩んだぶんだけ、愛しい肌へ。





## 和歌山で建築士事務所全国大会

全国の建築士事務所のみなさんが一堂に会して、建築士事務所の社会的役割に対する意識を高め、社会の期待に応えるより良い環境づくりに積極的に貢献することを目的に、初めて和歌山県で開いた「第41回建築士事務所全国大会」に、鶴保議員も駆け付けて、お祝いと激励を…。

全国大会では、日本建築士事務所協会連合会の佐野吉彦副会長による「建築士事務所憲章」の朗読の後、大会実行委員長の和歌山県建築士事務所協会の小川浩会長が挨拶。

また、優れた建築作品を設計した建築士事務所に、日事連の大内達史会長らから表彰状が贈られました。

会場の和歌山市の県民文化会館の1階の展示室では、木を素材とした建築と木の関わりについての企画展示が行われ、また、「歴史と文化と自然を活かした建築」という基調講演も行った東大名誉教授の藤森照信氏（建築家・建築史家・東京都江戸東京博物館館長）などがパネラーになったパネルディスカッション「木の国で語る」(コーディネーター・原田浩司氏)も多くの参加者の関心を集めていました。

〈2017・10・6 県民文化会館〉①

## 産業廃棄物協会30周年記念大会

一般社団法人和歌山県産業廃棄物協会の法人化30周年を記念した式典が開かれ、お祝いに。

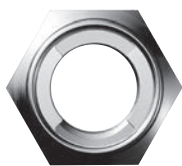
会では、協会の武田全弘会長が「今後も廃棄物処理のプロとして技術の向上に努め、社会に貢献したい」と挨拶。続いて仁坂吉伸県知事が、災害時における協会会員のみなさんの活動を労いながら「紀伊半島大水害のときは奇跡的なスピードで処理してくれた。絶対に必要な産業なので、これからも全力で業界の発展に尽くしてほしい」と激励を込めた祝辞。式典では、協会に貢献した事業所に対する表彰なども行われました。

〈10・20 和歌山市・ホテルグランヴィア和歌山〉②

## 「中村しんじ出陣式」へ

任期満了に伴う紀の川市長選挙と市議会議員選挙の告示日（昨年11月12日）の朝。鶴保議員は午前9時から市内打田で開かれた市長選挙の「中村しんじ出陣式」に駆け付け、選挙事務所の前で、現職で無所属の中村候補（自民・公明推薦）にエールを送りました。

出陣式を終えると、中村氏はすぐ選挙カーで市内を回るために出ていきましたが、結局、ほかに候補が出ず、中村氏は前回選挙に続いて



**U-NUT®**  
ゆるみ止めナットの決定版



**FINE U-NUT®**  
ベアリングの締結革命



NETISの活用効果評価結果  
において「I-VE」に登録されました。

国土交通省 新技術情報提供システム  
**NETIS**  
登録No. KT-130064-VE  
新技術名称 U-ナット



ゆるみ止めナットの総合メーカー  
**株式会社 富士精密**  
**Fuji Seimitsu Co., Ltd.**

代表取締役会長 和田 博行  
代表取締役社長 和田 眞孝  
本社：〒561-0845 大阪府豊中市利倉 3-14-15  
TEL:06-6862-3112 FAX:06-6862-9880  
<http://www.fun.co.jp>





国内45カ所目となる貿易情報センターが和歌山県に開設されました。

#### JETRO和歌山開設、鏡開き

〈11・12 自民党和歌山県連〉

さらに進行中の地方議会や首長選挙などについての協議も行われました。

和歌山市ト半町の自民党和歌山県連3階ホールで開かれた県支部連合会拡大役員会に出席して協議。10月22日に行われた衆議院選挙の後の役員会です。その総括や今後の党勢拡大について話し合いが行われました。

#### 党県支部連合会の拡大役員会

〈11・18 海南市・海南保健センター〉

恒例の海南地区懇親会を開いていただき、出席。いつもながらの皆さんからの温かい激励の言葉に心からの感謝を。

#### 海南地区懇親会

〈11・12 市内打田の事務所〉

今回も無投票で4選を決めました。広範囲の浸水被害を引き起こした台風21号の直後だっただけに、「大雨、台風の時でも被害を最小限に抑え、安心して生活できる紀の川市をつくっていくことが大事」と抱負と決意を述べ、支援者も「万歳三唱」などは控えた静かな4選となりました。

地域の企業経営者や行政関係者らが集って祝う橋本商工会議所の新年賀詞交換会に今年も出席して、

#### 橋本をさらに活性化

〈2018・1・4 鮎茶屋〉

の決意を表明していました。

新春恒例の有田市新年互礼会に出席して、仁坂知事らとともに新年の祝辞を述べました。望月良男市長、市議会の万賀幸雄議長、有田商工会議所の川端隆也会頭をはじめ200人近い人が今年も和やかに新年を祝い、また、それぞれの人が、課題になっている地域活性化に向けた取り組みへの決意を表明していました。

#### 有田市の新年互礼会

〈12・20〉

和歌山の豊富な農林水産物の輸出促進、さまざまな地場産品・伝統工芸品の海外販路の開拓、さらに海外企業の誘致や観光資源の情報発信などによるインバウンド促進などが大いに期待されています。いずれも鶴保健議員が力を入れてきた施策でもあります。

その開所記念レセプションに出席して鏡開きを行い、祝いました。和歌山貿易情報センターが設置されたのは和歌山市小松原通の和歌山県庁東別館の2階。県庁内に設置された貿易情報センターは初というところで、その特徴を活かしながら、県や関係団体等と密接に連携して、県内企業をサポートしていくという話が聞かれました。

## SLEEP SELECT

www.sleepselect.co.jp

(株)スリープセレクトは2018年4月1日よりSealy(シーリー)商品の販売事業をテンピュール・シーリー・ジャパン有限会社から譲受しました。日本におけるSealy(シーリー)ブランドの製造から販売までを再び一貫して手がけます。



米国テキサス州シーリータウンで創業以来、約135年。60カ国以上で愛用されています。

ORTHOPEDIC  
ADVISORY BOARD



シーリー社は業界に先駆けて整形外科医との連携を図り、「ボスチャーデックコイル」の開発を進めています。



おもてなしのプロが選ぶシーリーの寝心地。世界の一流ホテルにも採用されています。

#### 株式会社スリープセレクト

東京都港区北青山2-13-5 青山サンクトレストビル2F TEL: 03-5413-6600 (大代表) 札幌/仙台/長野/東京/東海/名古屋/大阪/福岡 その他、全国にショールーム・ショッブも展開中

スリープセレクトは、世界有数のマットレスブランドTempur®、Sealy®、両ブランドの取扱店であり、Sealyとライセンス契約を締結しております。

Sealy 再び  
Re Sparkle



祝辞を述べました。

橋本市では昨年、市内の魅力的な自然や水に加えて伝統産業や特産物などの地域資源を活かした『観光体験推進事業』を実施しました。寺本伸行会頭は、「その実績を、この度設立された『一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー』に引き継ぎ、橋本の観光振興に結実するように期待するとともに、橋本にさらに人を呼び込むために、四季折々の花を活用した『紀の川花夢計画』を地域全体で連携して取り組み、また、行政の地域ブランド推進施策ともタイアップして、地場産業を全国に、世界に売り出す努力もしていきたい」と力強く語っていました。鶴保議員も賛同と激励のメッセージを述べました。

（1・5 橋本商工会館8階）

#### 自民党県支部連合会の年賀会

和歌山市のホテルに県出身の国會議員や県議、自治体の首長、党員ら約1000人が集まり、自民党和歌山県支部連合会のみなさんが新年の門出を祝いました。鶴保議員も出席して祝辞を述べ、県や党の発展を祈念しました。

党幹事長で党県連会長の二階俊博衆院議員は、「和歌山県の躍進を懸命に願っているし、各界の団結で、躍進を目指していかねばならない。そのためには、地元の方々の協力が何よりも大切

だ」と述べ、自民党への期待にしっかりと応えていきたいと強調していました。

国會議員のほかには仁坂知事や尾崎太郎県議会議長らもあいさつに立ちました。

（1・6 アパローム紀の国）

#### 荊冠旗びらきで祝辞

部落解放同盟杭ノ瀬支部の「2018年荊冠旗びらき」に出席して祝辞を述べました。

荊冠旗（けいがんき）は、キリストが十字架にかけられた時にかぶせられた荊（いばら）の冠を受難と殉教の象徴としてデザイン化されている部落解放同盟の団旗です。

部落差別（同和問題）は、日本社会の歴史的発展の過程で生み出されたわが国固有の人権問題で、残念ながら今なお差別待遇や差別的な発言、あるいはインターネット上で差別を助長するような内容の書き込みがなされるなどの事案が数多く発生しています。

このような状況を受けて、平成28年12月16日に、部落差別のない社会の実現を目指して「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」が施行されました。

それから1年以上たちましたが、「差別がなくなったわけではない」「差別を解消するための国や地方公共団体の具体的な施策がまだに見えない状況にある」などの厳しい指摘もなされており、この旗

KONOIKEグループは、高い品質のサービスを提供し、  
世界の人々の幸福と安全で安心な社会の実現に役立つ  
プロフェッショナルサービス集団を目指します。



### 鴻池運輸株式会社 Konoike Transport Co., Ltd.

代表取締役社長 鴻池忠彦

大阪本社 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-3-9 TEL 06-6227-4600(代表)  
東京本社 〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 TEL 03-3575-5751(代表)

■グループ会社  
ASRIサイクリング倶楽部  
株式会社エーパシオン  
風テック株式会社  
コウノイケ・エクスプレス株式会社  
千代田検査工業株式会社  
コウノイケ・コーポレートサービス株式会社  
九州産交運輸株式会社  
鴻池メディカル株式会社  
株式会社NKSホールディング  
日本空運サービス株式会社  
空港ターミナルサービス株式会社  
株式会社エヌイービー  
株式会社フレンドリー  
株式会社グランドサービス

株式会社  
株式会社Kクラフトエクスパート  
株式会社エーパシオン  
コウノイケ・エアポートサービス株式会社  
関西運輸株式会社  
此花運輸株式会社  
日本空運株式会社  
前川運輸株式会社  
コウノイケ・シーディング株式会社  
佐野運輸株式会社  
株式会社  
コウノイケ・ビジネス・マネジメント株式会社  
KONOIKE-PACIFIC CALIFORNIA, INC.  
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (USA), INC.  
KONOIKE-GENERAL, INC.

KONOIKE-E STREET, INC.  
KONOIKE MEXICO S.A. de C.V.  
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (H.K.), LTD.  
鴻池国際物流(深圳)有限公司  
青島遠洋鴻池物流有限公司  
鴻池物流(上海)有限公司  
鴻池重運物流(江蘇)有限公司  
創業園際貨運代理(中國)有限公司  
BEL INTERNATIONAL LOGISTICS LTD.  
創業園際貨運代理有限公司  
BEL SUPPLY CHAIN SOLUTIONS LTD.  
PKI MANUFACTURING & TECHNOLOGY, INC.  
PT. KONOIKE TRANSPORT INDONESIA  
KONOIKE VINATrans LOGISTICS CO., LTD.  
ANPHA-AG JOINT STOCK COMPANY

VINAKO FORWARDING CO., LTD.  
BEL INTERNATIONAL LOGISTICS VIETNAM COMPANY LTD.  
KONOIKE ASIA (CAMBODIA) CO., LTD.  
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (S) PTE. LTD.  
KONOIKE J. TRANSPORT (THAILAND) CO., LTD.  
KONOIKE ASIA (THAILAND) CO., LTD.  
KONOIKE COOL LOGISTICS (THAILAND) CO., LTD.  
KONOIKE EXPRESS (THAILAND) CO., LTD.  
KONOIKE-SOTUS VENTURE CO., LTD.  
KONOIKE MYANMAR CO., LTD.  
KONOIKE-EURO LOGISTICS (BANGLADESH) LTD.  
JOSHI KONOIKE TRANSPORT & INFRASTRUCTURE PVT. LTD.  
KONOIKE ASIA (INDIA) PVT. LTD.  
CARNA MEDICAL DATABASE PVT. LTD.





14



13



12



11

びらきで、差別撤廃に取り組んでいくことを改めて決意しました。  
 〈1・6 和歌山市・杭ノ瀬文化会館〉⑩

### 市政報告会にビデオメッセージ

新春、和歌山市内で開かれた浦平美博市議会議員の市政報告会にビデオメッセージで参加しました。

浦平市議は2期目ながら、平成27年6月から経済文教委員会の委員長という重責を担って市議会で活躍しています。

以前、和歌山における教育現場の課題を抱えて鶴保議員を訪ねて来た時、当時の義家弘介文科副大臣のもとに案内して話を聞いてもらったところ、副大臣は膝を打ち、「そうなんです!」「問題はそこなんです!」と我が意を得たりといった様子だったとのエピソードなども交えながら、「政治は思いと情熱」「さまざまな問題を掘り起こして素早く行動に移すことが大事」、その点、浦平議員の行動力には大いに期待している、とのメッセージを送りました。

〈1・22〉⑪

### 志帥会の仲間を励ます会

地元和歌山選出の志帥会の仲間である門博文衆議院議員を励ます会に出席し、二階会長のお祝いと激励の言葉などについて祝辞を述べました。

会には、民主党政権で官房長官

も務めた平野博文衆議院議員（大阪11区、無所属クラブ）も駆けつけ、乾杯の音頭を取りました。同じ「博文」の平野氏は、門氏と同じ和歌山県伊都郡かつらぎ町生まれの先輩にも当たります。

ほかにも多くの先生方が激励のメッセージを。〈2・5 東京・ホテルポール麹町〉⑫

### 鈴木県議を支える世話人の集い

和歌山県議会議員の鈴木太雄（たいゆう）さんを囲み、支える人たちが集う「太雄会」の新春世話人の会に参加しました。会には、自民党和歌山県連の青年部長や多くの県議、市議のみなさんなどが駆け付けました。鶴保議員も多く

の鈴木さんを支える人たちとともにお祝いと激励のメッセージを。地元特産の梅酒で乾杯をした後は会場のみなさんで和やかに歓談を…。〈2・12 紀伊田辺シティプラザホテル〉⑬

### フェローフォーラム

鶴保庸介議員を支える人たちが集い、また一緒に勉強をする会でもある「フェローフォーラム」の恒例の新春の集いが開かれました。東京後援会の西村会長などが挨拶に立ち、それらを受けて鶴保議員が、日頃の皆さんのご支援に対する謝辞とともに今年の抱負を力強く語っていました。

〈2・13 日比谷・聘珍楼〉⑭

**KIRII** 株式会社 桐井製作所

確かな技術で創られた空間には安全・安心・美しさがある。

<http://www.kirii.co.jp/>

本社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F TEL:(03)3539-6000 FAX:(03)3539-6660

# 貴重な大臣経験と実績を活かして

## さらに精力的に政策の推進を！

昨秋、「前内閣府特命担当大臣 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」東京で



「前内閣府特命担当大臣 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」が、昨年11月2日、東京・白金台のシェラトン都ホテル東京で開かれました。第一部では、鶴保議員が担当大臣（科学技術政策）として主導した「サイエンス&イノベーション・インテグレーション（S&I）協議会」やイノベーション政策推進などで協力関係にあったA・T・カーニ日本法人の梅澤高明会長による講演「NEXT TOKYO〜TOKYO 2020の先を見据えた将来ビジョン〜」が行われました。「NEXT TOKYO」は、日米で経営コンサルタントとして活躍している同氏ら有識者がスタートさせたプロジェクト

です。東京をいかに世界に開かれた魅力的な都市に進化させるか、それらの施策をオリンピック後の成長にいかにつなげるか、などをテーマに熱く語っていただきました。大臣退任後の最初の会でしたので、多くの来賓、参会者の皆様からいただいた言葉にも、精力的に動いた貴重な大臣経験をしっかりと活かして次の政治ステージにつなげるようにとの強い期待が込められていました。新たに参議院資源エネルギーに関する調査会会長という要職に就いた鶴保議員も、それをしっかりと受け止め、心からの謝辞を申し上げていました。皆様、ありがとうございました。

関西後援会・鴻池会長の発声により乾杯！  
梅澤高明氏と元衆議院議長伊吹文明、元  
官房長官河村健夫の両衆議院議員と林芳  
正文科大臣  
（上から）



### 編集後記

今回も国会に関するQ&Aです。

Q. 今度、鶴保先生が会長になった「資源エネルギーに関する調査会」は、衆議院にはない参議院独特のものなんですね。

A. そう。参議院改革の一環として設けられた機関だから。

Q. いわば参議院の存在感を示そうという改革ですね。

A. 参議院は任期6年、解散がないから落ち着いて政策に取り組める。その特性を生かして長期的総合的に調査研究するために昭和61年に設置されたのが調査会なんだ。「資源」と「外交・総合安全」「国民生活」の3調査会があり、大局的見地から国政の基本的事項の調査を行う。立法措置が必要な場合、自ら提出するだけでなく、所管委員会に法案提出の勧告もできる（調査会だけに認められた「立法勧告権」）。調査のための公聴会を開いて広く国民の意見を聴くこともできる。それらをまとめて調査会長が議院に報告する。だから政策通の議員にふさわしいポストとも言えるね（p4参照）。

（K）



●写真による活動報告も行っています。

ホームページもぜひご覧ください。

<http://www.tsuruho.com/>

### 鶴保庸介事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館313号

TEL.03(6550)0313 FAX.03(6551)0313  
E-mail: info@tsuruho.com